

SDGs 達成・CO2 排出削減に貢献する

「食品ロス削減 SDGs ロッカー」を設置しませんか？

SDGs
未来都市
横浜

～横浜市はロッカーの設置場所提供者、設置者及び食品販売者のマッチングを開始します～

横浜市及びヨコハマ SDGs デザインセンターでは、SDGs の普及・促進や CO2 排出削減、食品ロス削減に取り組んでいます。

今年1月より実施している、賞味期限内でありながら廃棄されてしまう専門店のパン等を購入できる食品ロス削減 SDGs ロッカーの設置により、順調に食品ロス削減が進んでいます。

今後、この取組を全市に拡大するため、横浜市内における「食品ロス削減 SDGs ロッカー」の設置場所提供者、ロッカー設置者及び食品販売者のマッチングを開始します。

今回は、民間のロッカー設置場所提供者の公募を開始します。

■事業スキーム

今回の公募対象

(1) 場所提供者の公募

市内でロッカー設置場所を募集します。

(2) 条件等のヒアリング

応募者に対し、設置や入荷の条件等についてヒアリングします。

(3) 連携事業者の公募

場所提供者の提示する条件に合わせ、連携事業者（ロッカー設置者・食品販売者）を募集します。

(4) 事業者間の対話

場所提供者と連携事業者で対話します。

(5) 連携の成立

場所提供者と連携事業者（ロッカー設置者・食品販売者）がマッチングすれば、事業開始です。

【ロッカー設置場所提供への応募条件の例】

市民の方が広く利用できる場所であること

※社員の福利厚生用や会員のみ利用可など、特定の方しか利用できない場所は除きます

640mm（幅）×370mm（奥行）以上の敷地

※募集内容の詳細については、ヨコハマ SDGs デザインセンターHP を確認してください。

<https://www.yokohama-sdgs.jp/>

裏面あり

■今後の目標

18区に展開し、30トン/年以上の廃棄物削減、120トン/年以上のCO2削減（※）を目指します。
 ※CO2排出量は、「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.4）」のパン類製造における排出原単位：3.91 トン-CO2/（製造量）トンをもとに、年間30トンのパン製造や運搬が回避されたものとして算出

■食品ロス削減効果

廃棄食品の運搬に伴う化石燃料の使用量や、食品として消費されることによる廃棄物の焼却量を減少させることになれば、地球温暖化につながる二酸化炭素の排出量削減に寄与します。

■これまでに設置した場所

設置場所	ロッカー扉数	廃棄物削減量
市営地下鉄関内駅構内（中区）	21	1.2トン/年
横浜銀行アイスアリーナ（神奈川区）	9	1.4トン/年
みなとみらい線馬車道駅（中区）	18	1.5トン/年



（参考）過去の記者発表資料

・市営地下鉄関内駅「SDGs ステーション横浜関内」フードロス・食品ロスを削減するロッカー型自販機を設置！

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/koutuu/2023/20240111sdgsstation.html>

・ロッカー型自販機でパンを購入して、SDGs に貢献しませんか？～ 横浜市スポーツ協会「横浜銀行アイスアリーナ」にフードロス・食品ロス削減ロッカー型自販機を設置します～

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/green/2024/icearena-locker.html>



ロッカー型自販機に商品を搬入する様子



販売された商品は連日完売するほど大人気です

お問合せ先		
■ 食品ロス削減SDGsロッカーの設置、SDGsに関すること 脱炭素・GREEN×EXPO推進局SDGs未来都市推進課長	田村 康治	TEL 045-671-3901
■ 横浜市内の食品ロス削減に関すること 資源循環局事業系廃棄物対策課担当課長	大島 貴至	TEL 045-671-2558
■ ヨコハマSDGsデザインセンターに関すること ヨコハマSDGsデザインセンター総合コーディネーター	石塚 直樹	TEL 050-3749-7415

※ロッカー設置場所での取材をご希望の場合は、7月4日17時まで、SDGs未来都市推進課に連絡してください。